

## 2017年度政務調査研究活動実績報告書

県民の会  
代表 中内 桂郎

2017年度の政務調査研究に関する主な活動の実施状況は以下のとおりである。

- 1 佐川町における観光行政等について
- 2 仁淀川流域における森林林業について
- 3 越知町立横倉山自然の森博物館等見学及び移住者との意見交換について
- 4 集落活動センターの取り組みについて
- 5 日高村の産業活性化の取り組みについて
- 6 長崎市における移住施策について
- 7 福岡県の商工・観光行政について
- 8 四国内の観光・公共交通・林活議連に出席し情報共有・意見交換
- 9 原発事故被災地の現状と帰還施策について
- 10 今治市における地産地消地域農業振興について
- 11 今治市サイクリングターミナル視察について
- 12 土佐市のハウス農業視察について
- 13 大船渡市・陸前高田市・気仙沼市・塩竈市などの東日本大震災被災地の漁業復興状況について
- 14 鶴岡市立加茂水族館視察調査
- 15 台湾における高知県物産展、国際茶業博覧会の視察及び土佐備長炭の市場調査
- 16 土佐茶の加工販売について
- 17 長浜市の黒壁スクエアなど滋賀県の地場産品情報発信のあり方について

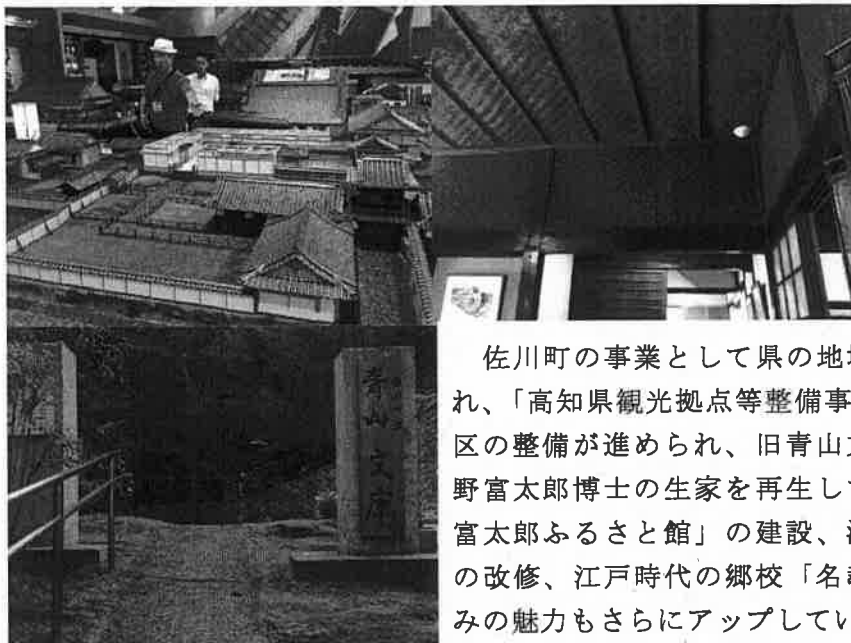
- 1 8 石綿問題対策について
- 1 9 エネルギーの地産地消、木質エネルギー調査について
- 2 0 ふるさと回帰支援センターにおける移住調査について
- 2 1 文化による地域情報発信についての調査
- 2 2 林野庁、防衛省など国への要望について
- 2 3 南海トラフ地震対策などについて

# 平成29年度政務調査研究活動実績報告書（別紙）

県民の会  
代表 中内 桂郎

## 佐川町における観光行政等について

（7月27日）



会派の調査活動として行った佐川町では、佐川町くろがね会のまち歩きガイドの説明を受けながら「地場産センター」に再現された上町地区の歴史的建造物の説明を受けた後、「竹村家住宅」「青山文庫」「旧浜口家住宅」の説明を受けました。

佐川町の事業として県の地域アクションプランに位置付けられ、「高知県観光拠点等整備事業費補助金」等を活用して上町地区の整備が進められ、旧青山文庫（佐川文庫庫舎）の移設、牧野富太郎博士の生家を再生してゆかりの資料を展示する「牧野富太郎ふるさと館」の建設、酒造商家の住居「旧浜口家住宅」の改修、江戸時代の郷校「名教館」の移築などが行われ、町並みの魅力もさらにアップしています。

さらに、その魅力を伝える観光ガイドの育成などの成果が、幕末維新博の地方会場となる青山文庫を軸に、さらに発展していく可能性を感じさせられました。

## 仁淀川流域における森林林業について

（7月27日）



「佐川集材センター」で、仁淀川林産から、6年前に立ち上げて以降の原木生産量の増加や林家育成事業などについて説明を受け、越知・佐川での林道整備の要請なども受けました。

従業員の所得も引き上げられる環境にあるが、他事業者との関係で、上げきれないという課題もあるようで、真剣に林業従事者の県下的な所得水準の確保が求められているのではないかと考えさせられました。

仁淀川町役場では、町長も同席の上、合併から12年間で2150人が減少する中で、人材の確保が必要であることを前提に、仁淀川町の林業体験ツアーなど研修制度や町内の森林管理体制などについて説明がされました。

また、高吾北地域原木安定供給体制の構築について報告がされたが、例えば仁淀川町が2万立方メートル増産するのに担い手20人増でも困難であるが、それを増やし、いの町などとともに、頑張るしかないということも言われていました。

これらの課題は県下に共通する課題であり、現場からの声を受け止めた取り組みに力を入れていきたいと思えます。

〈日高村〉 レストランでオムライス街道の取り組み

(7月28日)

オムライスを食べながら話を日高村より聞く。なんとこの企画は、町長が呼びかけての発想だと聞く。県内はもちろんのこと県外客にも食べてほしい願いがこめられている。今では盛況この上ない状況とのこと、今後も盛況であってほしいと願う。

〈日高村トマト団地〉

なんと広い敷地に発想の願いを込めて作業員は一生懸命であった。

甘酸っぱい中にもうまみが残る。これぞトマトの味がすると感じたのは私だけではないと信じる。土地が低く水没の恐れがあると感じた。もう少し地盤を高くした場所に設置して安心感をもって作業ができることを考えてほしいような気がした。また集荷場は立派な機械類を取りそろえ効率的な運営が出来る様な感じを与えてくれているようである。いずれにしても膨大な投資金である。それだけに、トマト団地としては日高村の将来にかかわる大事業であると思った。

〈越知町〉

(7月28日)

多くの若者に囲まれての座談会。こんな雰囲気を出せば越知町も発展するだろうと感じた。だれもが活発な意見を発表し、その受け答えに苦慮された。若者の場を作してほしい、川で遊ぶことを考えてほしい、仕事がほしいなどの意見をいただいた。

〈明治中学校〉

立派な学校であった。風情を残しておると感じた。昔話に花が咲く感じであった。年1回の「盆踊り」は盛会に行われているとのこと、昔を思い出すすばらしい催しであると感ずる。

〈キャンプ場〉

県費を費やしてのキャンプ場を設置すると云う。誰もが思うのはこんな場所に果たして来てくれる人々がおるだろうかという感じであった。しかし地元の人達は皆喜んでい  
る感じであった。どうかこの場所に立派な施設が出来ることを期待する。

〈黒岩地域〉

2回目の訪問である。一回目に聞いた話では、台風で水没したいきさつを聞いた。  
今回は柳瀬川の氾濫で田畑が水没するといういきさつを過去に渡って聞いた。今回は行  
政側がもう少し「力」を入れた行政のあり方を示す必要があると痛感した。  
微力ではあるが必ず地元の意見を成し遂げたい一心である